

一般社団法人ビリーバーズ 第13回理事会議事録

1. 開催日時 令和7年12月15日(月) 午後3時00分～午後3時31分
2. 開催場所 当法人事務所
3. 出席状況 理事総数3人 監事1人 有効出席者数2人
4. 議長選任の経過 上記のとおり定足数に足る出席があったので、定款の規定により代表理事の熊野英一が議長になり、直ちに議案の審議に入った。

5. 議事

第1号議案 第4期の決算書、事業報告書の審議

決算書に関して今期はまだ170万円ほど赤字だが、東京都から人件費に関する補助金がビリーバーズ広尾に対して支給された。5期は、広尾に加えて板橋に対しても通期で支給されるので、200万円程度の黒字化が期待できる。事業報告に関しては、広尾は延べ利用者数が5期に向けて少しずつ増えた。板橋は、第4期6月から大山が週5、高島平週2と稼働を挙げた。その他本部で取り組んでいるものもほぼ予定通りいけた。監事からも特にコメントはなかった。

第2号議案 5期の予算、事業計画についての審議

5期の予算は、ビリーバーズ広尾、板橋とも東京都から人件費に関して補助金が入るため、各拠点ごと黒字になる見込みである。予算も各拠点に細かく数字を作ってもらったので精度高く見積もれていると考えている。事業計画は、ビリーバーズ広尾、板橋、本部ともこれまで同様に進めていく予定を立てている。監事の小倉氏から、補助金をもらって5期から黒字になっているが、利益が出ている分補助金が減るとあるのかという確認があった。東京都の補助金は、利益が出ても問題ないことが確認できているので、これまでの赤字の埋め合わせや、今後事業継続に向けての運用資金にする見込みであると代表理事の熊野から説明があった。さらに監事から、運営資金が回ってきたことで、低予算になっているところの処遇見直しも考えないのかと指摘があり、熊野からその必要性があると認識していると説明があった。

第3号議案 ビリーバーズ広尾・板橋の東京都補助金に関する報告

事業所に対しては第2号議案で話した通りである。その他、利用保護者に対して、東京都や区によっては補助金が出るケースがあるので、利用料の値上げ等も検討できる余地があると、熊野から説明があった。

第4号議案 ビリーバーズフランチャイズ拠点に関するご報告

ビリーバーズ西小山について、子どもが3、4人程度で回りだしている。昼が子どもの居場所、夜は大

人の居場所ということを進めてきた。半年たった時点で振り返ってみると、情報連携の必要性は高くないようで、ビリーバーズ西小山は独自性を大切にしていることから、当面は活動を見守っていくと熊野より報告があった。

第5号議案 その他、理事、監事が取り扱いたい議題について

子どもの稼働が少ない長期休暇の場合、キャッシュの減りが大きいタイミングがある。必要に応じて金融機関からの借入れを検討するのもありかという意見もあったが、補助金の入金等で補えそうなので今期は借入れの必要はないと考えた。理事報酬に関して、引き続き無報酬だが、第5期で黒字になって安定してきたら、理事報酬も検討していく。


議長は、以上をもって本日の議案の審議を終了した旨を述べ、午後3時31分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事、出席監事が記名押印する。


令和7年12月15日

一般社団法人ビリーバーズ

議長

熊野英一 

出席理事

蔵本美紀 

出席監事

小倉啓吾 